19990217
[9808]
総60号
発行
桂坂
自治連合会
広報編集部

桂坂

桂坂自治会館・消防分団器具庫
三月一四日一般公開

ご寄付によって完成した自治会館・消防器具庫を、使用に先立って皆さまにご覧いただこうと、次の日時に公開いたします。

3月14日(日)
午前10時～午後3時

当日は、1階・2階とも見ていただきます。

1階は、3分の2が消防器具庫で、小型動力ポンプや斧・鋸・照明器具・飲料水を貯える袋などの諸道具を収納する部屋と控室。会議や「無火災推進日」（月2回、5日と20日）の8時30分から9時30分まで行われる学区内パトロールなどの詰所として活用されています。

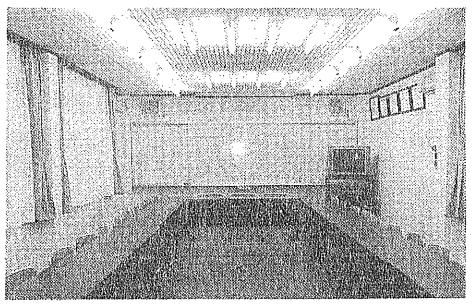
1階の3分の1は、コピー機や書類収納棚のある自治連合会の事務所です。

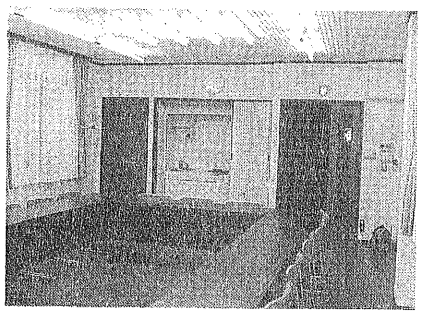
2階は会議室。三人掛けのテーブル10脚（キャスター付きで移動・折畳み可）椅子30脚（外に補助椅子が10脚）。机を「ロの字」型に並べて30人規模の会議が可能です。

この自治会館は、4月18日(予定)以降、桂坂学区の各自治会・各種団体など公的団体の活動の拠点となるところです。また、防災面でも、いざという時には、耐震構造で、いずれ自家発電用の装置も予定されているこの建物が、救援や情報の収集・発信の中枢として機能することになります。

こうした建物は日頃から人に親しまれ、また、その場所もよく知られていなければなりません。

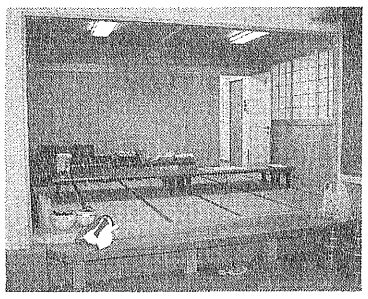
そこで、学区の中心に建つ、この意義深い会館をじかに皆さまにご覧いただき寄せられたご厚志にお応えしようとこの度の企画となりました。ご来館をお待ちしております。





右 会議室正面
下 会議室入口側

去る1月30日、桂坂学区創立10周年記念事業を企画運営する実行委員会が開かれ、10月24日(日)に記念式典、また、体育振興会はじめ各種団体の行事は「創立10周年記念」の冠を付して行うことなどが決まりました。企画の日時・内容等は『桂坂』を通じてお伝えしていく予定でおります。



一階の消防団詰所

桂坂 保育所 児童館 の案内
学童クラブの申込受付 始まる

4月開館を目指して現在保育所、児童館ともに建設が進められています。

この児童館では、館長以下5名の職員(児童厚生員)の方が子どもたちの「健やかな育ちと仲間づくり」を援助し、「遊びや各種のクラブ活動など集団活動の指導」に当たられ、子どもや保護者の相談相手ともなって「地域に開かれた施設」を目指して活動されます。

別掲の「学童クラブ」の外に「子育て支援の事業」としては、幼児や保護者を対象とした「幼児クラブ」「母親クラブ」「子育て相談」などの活動、「地域の児童健全育成センター」としては、お年寄りから昔ながらの遊びや手仕事を教わるといった「地域ふれあい事業」の実施などが予定されています。

この児童館・保育所は、4月1日開設の予定です。

■運営主体
京都社会福祉協会

■開館時間
午前10時～午後5時

■利用対象・方法・料金
●0歳～18歳の児童とその保護者（幼児の利用は保護者同伴）
●来館自由（但し、クラブ・教室・行事などは事前申込が必要な場合あり）
●無料（クラブ・教室・行事により要実費）

■休館日
日曜・国民の休日・年末年始（12月31日～1月3日）

■学童クラブ■

この「学童クラブ」とは母子・父子家庭、両親の共働きなどで昼間留守になる家庭の子どもさんを対象に「家庭的な暖かい雰囲気を大切にし」て「放課後の子どもたちの生活の場」として設けられるものです。

■対象の児童
小学校1年生～3年生

■実施期間
月曜～土曜の下校時より午後5時まで（学校の長期休暇時は、午前9時～午後5時）

■費用
諸費・おやつ代などの実費負担

■□■ ―――――

学童クラブの申込受付
2月19日～3月5日

受付場所
桂坂小（教頭先生）

申請書類等
小学校にあります

頻発する空き巣の対策は？

去る二月一日（月）午後一時四〇分頃、北沓掛町四丁目のお宅に二人組の物取りが押し入り、中におられた家の人が怪我を負わされる事件がありました。

桂坂にお住まいの皆さまには、セキュリティーによる告知放送も入り、不安を抱かれた方も多かったことと思います。編集部の定例会議もたまたま、その一日の夜にあったため、事件のことが話題になり、昨年末に引き続き、大枝交番で、その後の状況、地域や家庭での防犯の心構えをお聞きすることになりました。

事件のあらましは前記の通りですが、以下は交番の方より伺ったお話です。

□

事件後ただちに数ヶ所で検問したが、残念ながら、検挙に至っていない。この事件の他にも大枝地域では別の手口の空き巣が二件発生しているので、狙われやすい昼から夕方にかけての時間（子どもさんが学校から帰るまでの留守にしがちな時間帯）のパトロールを強化している。

閑静な住宅街である桂坂は、空き巣に狙われやすい状況にある。例えば――

(1)昼間も立ち話する人が少ない。(2)近所同士も干渉し過ぎないようなお付き合いである。(3)公園や緑が多く潜みやすくて目立ちにくい。(4)人目に付かず侵入できる出入口もある、等々。

■空き巣狙いに関して

事前に下見をするケースが多く、不審な車を見たらナンバー（京***ー****のように全部）を控える。

不審な人物には「どちらかお探しですか」と尋ねる。

■普段の予防策は

(1)留守をする時には近所へ声を掛ける。(2)電灯・ラジオは付けたまま出掛けるのも効果がある。(3)シャッター・雨戸を閉め外目にも厳重な戸締まりをしていると感じさせる、等々。

■セキュリティー通報

階下の不審な物音には、二階から一一〇番、セキュリティーへの通報という方法もある。その際は、「住所・氏名・最寄りのバス停からの道順」を正確・簡潔に伝える。そのために、すぐに言えるよう「貼り紙」をしておくと便利。

■大切なものの保管

通帳と印鑑は別の場所に保管。現金をおく場合は、物の下など出しにくい所に。時計・指輪等の貴金属類は写真を撮っておくと質屋に持ち込まれた時、犯人逮捕の糸口にもなるし、戻ってくるケースも多い。

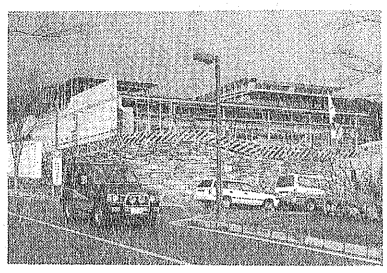
■対策を話し合う

「万一、押し入られたら」ということを想定して子供さんも交えてご家族で話し合われることも、また、ご近所、自治会ぐるみで対策を話し合われるのもよいと思う。

不況下でオートバイの盗難、車上狙いなども増えている昨今のこと、とにかく身の周りに気を付けてほしい。

（編集責 大倉・斎藤・牧野）

かざらっこ 愛称は



「桂坂にふさわしい愛称を！」に応えて応募されたのは、総数二〇七点。

うち桂坂学区からの応募が一六一点で、そのうち桂坂小学校の子どもさんの作品が一四四点ありました。

去る一月二十九日、民生局の福祉部長を委員長に地元代表三名らで構成される選考委員会が開かれ、桂坂小学校一年二組の井上悠さんの『かざらっこ』が優秀作品に選ばれました。

この作品は、「風のように元気で、ラッコの親子のように仲良く、思いやりのある子供を中心に、両親や祖父母も含め、アットホームな、地域に密着したフレンドリーな施設にしてほしい」との願いをこめ、さらに「かつらざかっ子」をもじったものだそうです。

この『かざらっこ』は、近く決定される保育所・児童館の正式な名称とともに私たちに披露されます。

なお 佳作は、次の三点でした。

『かざのこ館』
桂坂小四年四組
田中佑来さん

『ともだちランド』
桂坂小一年一組
荒木啓吾さん

『ゆめっこランド』
大枝東新林町
小島幸恵さん

『かざらっこ』の瀟洒な姿とこの「愛称」は、小学校・中学校、日文研の建物や西電工の社屋など四囲の「文化」ゾーンにマッチして、親しまれていくことでしょう。

花のボランティア □ 三月

俳句展

第13回『大文字駅伝』

桂坂小 準優勝

■信頼のタスキをつないで■

桂坂小学校ＰＴＡ

▼選手の一言▲

村田圭吾君 区間賞はとれなかったが、みんなで2位もとれて、いい思い出になった。

安田めぐみさん 自分のために車を止めてもらっていると思うと、とってもうれしかったです。

湯浅健太君 練習きつかったけれど、大文字の3区を走れていい思い出になりました。

中江真孝君 6秒差で区間賞をとりそこねたけど、違う友達ができていい思い出ができた。

井上菜美さん 昨年より順位が1つ上がって（3位→2位）うれしかった。

鎌田晃史君 区間3位だったけれど、結果は準優勝だった。今までの練習の成果が出せた。

川端希さん 2位でタスキをもらったので、先頭をめがけちぢめようと思ってがんばった。

鄭舜圭君 すごく楽しみにしていた当日。きん張していたけれど、いい思い出になった。

森みゆきさん 区間2位になれてとてもよかった。

三田村智彦君 きつい練習にたえてきたせいかが出たと思う。

小田雅之君 大文字駅伝大会に向かって練習してよかった。今年こそ3位からぬけ出したぞ！

伊藤香織さん みんなでがんばって去年よりもいい成績をとれたので、うれしかったです。

澤田篤子さん みんなで力を合わせて頑張った。「準優勝」自分でもすごいと思う。

▼楽しい思い出を ありがとうね▲

■十川修一先生

2月7日、10時45分。みんなの想いがびっしりとつまった1時間2分18秒のドラマが始まりました。

自分を信じて走れましたか。友を信じて待つことができましたか。みんなのすばらしい走り、先生の心のネガにしっかりと焼きつけましたからね。

準優勝本当におめでとう君たちと一緒にすごせてよかった。ありがとう。

■今崎文弥先生

「いっしょうけんめい」この頃の子どもたちにとって、あまりカッコいい言葉ではないこの言葉が、練習している姿から伝わってきます。ひたむきで一つのことに集中する彼らからたくさんのことを学びました。

絶好調に程遠いコンディションの大会当日も、それぞれが励まし合い、すばらしい成績を残すことができました。

子どもたちとの思い出多い一年に感謝！

■中江和子さん（桂坂小保護者）

2月7日快晴。絶好のマラソン日和で、子どもとともに緊張の朝を迎えました。

昨年11月中旬に、大文字駅伝チームが結成され、それまでの早朝練習がさらに強化されました。無事に予選会を通過し、本選出場が決まってからは、冬休みも毎日練習。周囲はインフルエンザの流行。それでも、毎日7時10分に登校する子どもは生き生きとして、楽しく練習をしていました。親としては、体調を崩さずインフルエンザに罹らないように含嗽、手洗いをさらに口うるさく言い、栄養面でも体力、抵抗力をつけるため料理に工夫を凝らし、外出も控え、家族中が風邪をひかないように注意し、「早く寝なさい」の口調も次第に強くなりました。他のご家族でも体調を崩さずベストコンディションで大会に臨めるように苦労されていました。それでも大会近くになり、風邪で発熱する子、嘔吐する子も出てきました。そんな時チームの子どもたちは、友達を心配し、「頑張ろうな」と声をかけ励ましていました。

長い期間を同じ目標に向い進んでいる子どもたちのチームワーク、やさしさをしみじみと感じました。大会当日はチーム全員が友達を信じ、一生懸命走る子、またそれを支える子、みんなの満足した笑顔を見て、本当に感動しました。

子どもたちには「よく頑張ったね」と誉めるとともに、ここまで子どもたちをご指導して頂いた諸先生に感謝の気持ちで一杯です。

有難うございました。

ニュースポーツ ■ソフトバレーボール大会

優勝の栄冠は かえで・さつき両自治会

1月17日(日)桂坂小学校体育館において、自治会対抗第1回・ソフトバレーボール大会が催されました。

お正月明けの、あわただしい日程の中での開催にもかかわらず、7自治会の単独チームとメンバーの足りなかった3自治会の混成チームの、8チームに参加していただきました。

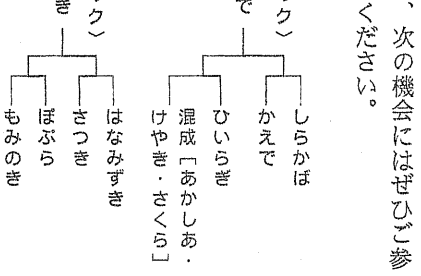
試合はそれぞれ4チームずつ2つのブロックに分かれて行われ、その結果、Aブロックの優勝は、かえで自治会、Bブロックの優勝は、さつき自治会でした。

このソフトバレーボールは、経験のない人でも簡単にとけこむことができ、ボールも柔らかく、本当に楽しいスポーツです。

試合が終わったあとの、皆さんの表情もさわやかな笑顔で一杯でした。

体育振興会では、昨年度よりこのソフトバレーと、ファミリーバドミントンの2つのニュースポーツをとり入れ、より多くの皆さんに参加していただけるように考えています。苦しい練習にたえ、技術の向上を目指すのもスポーツですが、こういった笑顔で楽しめるスポーツこそ生涯スポーツというテーマにぴったりのものであり、今後ますます盛んになると考えています。

この記事で初めてこの競技をお知りになったあなたも、次の機会にはぜひご参加ください。



■五九号の記事訂正■

①「建設 急ピッチ」のタイトル中「大江中学」は、「大枝中学」の誤りです。

②「社協」だよりの項に社協の管掌しない老人福祉員などの改選人事を組入れたのは編集部のミス。「『社協』だより」よりも「社会福祉だより」でしょうか？

③涌田さんを「湧田」とし電話番号も誤り。正しくは331－4897です。

以上、訂正してお詫び申し上げます。

山田南松尾山の山火事

西京消防団・桂坂消防分団
部長 梶間 俊郎

1月16日午後6時10分、帰宅すると息子が、「お父さん、変な電話あったよ。日文研の上が火事やて」

「何時頃や？」「5時半ごろ」――とにかく着替えて出動することにする。着替えタイム3分26秒。途中で詰所に寄り、現場到着が6時30分。

日文研北側道路の東詰めにポンプ車を含む消防車数台が集結、消火活動の真っ最中であった。わが分団から14名、松陽分団から8名が出動、道路警備にあたった。道路の東詰め北側の登り口には消防隊本部が設置され、われわれは無線を傍受しながら待機していた。その時であった。消防から団に応援要請が出た。

「小型動力ポンプを山頂に上げよ！」の指令。なにしろ日文研から山頂まで、20mホース×24本を継いで水を上げなければならない。ポンプ車のパワーでは足らず、小型動力ポンプ2台で中継が必要とのこと。われわれの任務は中腹の1台をさらに山頂に上げることであった。桂坂3名（湯浅分団長、山口部長と小生）、松陽3名の計6名の小隊で山を上がる。速い速い、山が燃えているとあって、無我夢中。みな我を忘れて狭くて険しい道を駈けるようにして登っていく。小生はついて行くのがやっと。

「怪我したらあかんし、ばてたらあかん、もっとゆっくり！」と何度も声を掛けたが誰も聞かない。瞬く間に小型動力ポンプが待つ中腹に到着。60kg位のポンプを約200m上げるのだ。一度に掛かれるのは、4人。「よし！」の掛け声と共にスタート。これも速い。体が傾く、足が滑る、危ない危ない。流石に途中で交替。いよいよ小生の番だ。把手を持って上げる。大したことはない。足掛かりを探して一歩上がる。ぐっと腰にくる。ヨイショヨイショ。一人が足を滑らせポンプを落とす。みな疲れているのだ。頑張れ、頑張れ――腰が痛くなってきた。漸く頂上に到着。そこで待つ隊員に引き渡し、任務完了。

その辺りは火の気もなくかすかにけむりの臭いがする程度。「苔寺へ」の道標の下辺り（山の北斜面）が現場だ。少し降りてみる。煙が充満してきた。すぐ横で一面下草が燃えている。火の粉が舞って新しく着火するのが見えた。少し怖くなって戻ることにした。

帰りは下り、しかし代わる代わる足を滑らす。「ようこんなとこ登ったなあ。火事場の馬鹿力やな」と分団長。それにしても山火事は怖い。乾燥しきった枯れ葉がいとも簡単に燃え上がるのを見たが、風が無くて良かったと心から思った。

日文研のご案内

落語の魅力

日時：2月20日(土)13時～
講演：桂文喬氏（落語家）
対談：桂氏と井上章一教授
対象：申込先着五〇〇名
受講料：九四〇円
申込先：庶務課 ☎335-2016

道教と東アジア文化

日時：3月10日(水)13時～
講演：日本文化と道教
千田 稔見研教授
漢代考古と美術にみる初期道教の側面
WU Hung客員教授
中国における馬の文化と船の文化
福永光司人文研名誉教授
申込先：研究協力課 ☎335-2046

ふれあい会館のご案内

■初級講座（1日コース）
日時：2月24日・3月12日 午前10時～午後3時
対象：どなたでも
内容：寝たきり予防の知識と介護技術を学ぶ
定員：20名

■健康づくり講座
2月27日・3月27日

■ボディーワーク◆シンプルスマイルビクス――音楽に合わせて楽しくトレーニング――
日時：2月16日・3月9日 午前10時～11時30分
対象：どなたでも（要費用）
定員：各15名

申込先：ふれあい会館 ☎333-4656